

## 松川事件研究所活動報告書

所 長 初澤 敏生

### 研究目的

松川事件の背景と実相、大衆的裁判闘争、松川救援運動および出版・報道の論調について、これまでの研究成果を踏まえ、総合的に研究する。

### 研究メンバー

#### < 研究代表者（研究所長） >

人間発達文化学類・教授 初澤敏生

#### < 研究分担者（プロジェクト研究員） >

行政政策学類・准教授 金井 光生

経済経営学類・教授 熊澤 透

経済経営学類・教授 小山 良太

#### < 連携研究者（プロジェクト客員研究員） >

あぶくま法律事務所・弁護士 荒木 貢

福島大学名誉教授 伊部 正之

福島大学名誉教授 今野 順夫

広田法律事務所・弁護士 広田 次男

安田法律事務所・弁護士 安田 純治

けやき法律事務所・弁護士 渡邊 純

#### < 研究補助者（プロジェクト研究補助員） >

松川記念会 石川 信

松川記念会 菅野 家弘

松川記念会 古屋 恒雄

松川記念会 吉田 吉光

### 研究活動内容

平成 28 年度は松川記念会と協力し「松川賞」の第 2 回募集、審査、表彰を行った。

松川事件発生から 60 年以上が経過し、事件の風化は急速に進んでいる。「松川賞」の設置は、松川事件に関する様々な研究や評論などを

公募することを通して、事件の風化をとどめるとともに、事件研究の新しい展開を追求することを目的としている。本年度は 5 件の応募があり、「研究・評論部門」と「エッセー部門」で各 1 編の受賞作が誕生した。授賞式は平成 28 年 10 月 10 日に福島大学付属図書館において行われ、マスコミによって広く広報された。「松川賞」は、来年度以降も継続して実施する予定である。

また、今年度の活動として、松川事件関連資料の電子データ化があげられる。後述するように松川事件関係資料を「世界記憶遺産」に登録する動きがある。(平成 29 年 5 月に申請残念ながら認められなかった)世界記憶遺産指定にあたっては資料のデジタル化とその公開についても評価基準となるため、その体制を整えていかなければならない。本年度はそのための試行として、松川事件広報用資料を 2 点電子データ化し、研究所 HP で公開した。これにあたり、資料の電子データ化のための手法と様式の点検、HP の設計変更などを行い、今後の資料電子データ化への道筋をつけた。

この他にもえん罪事件研究や世界記憶遺産等に関する基礎的な研究も進めていかなければならない。課題が山積である一方で、研究の歩みは遅いのが現状である。少しでも加速していきたい。